



愛媛県の 自殺の現状について

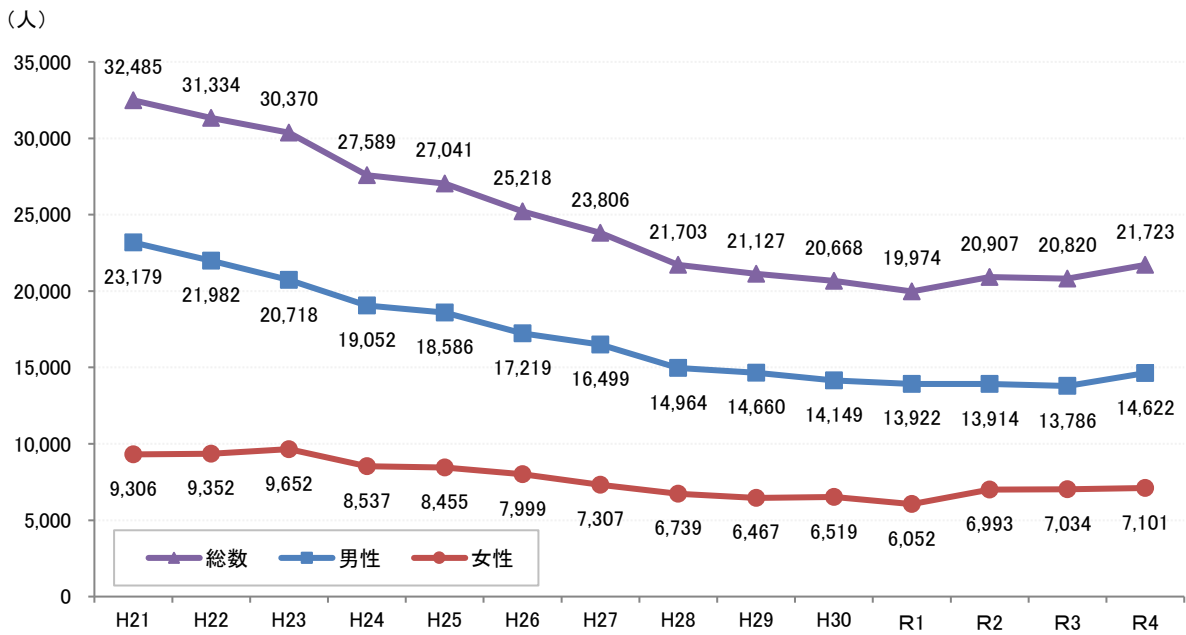


愛媛県地域自殺対策推進センター
(愛媛県心と体の健康センター内)

令和5年11月作成

1 全国と愛媛県の自殺者数

【全国】



資料:警察庁「自殺統計(自殺日・住居地)」確定値

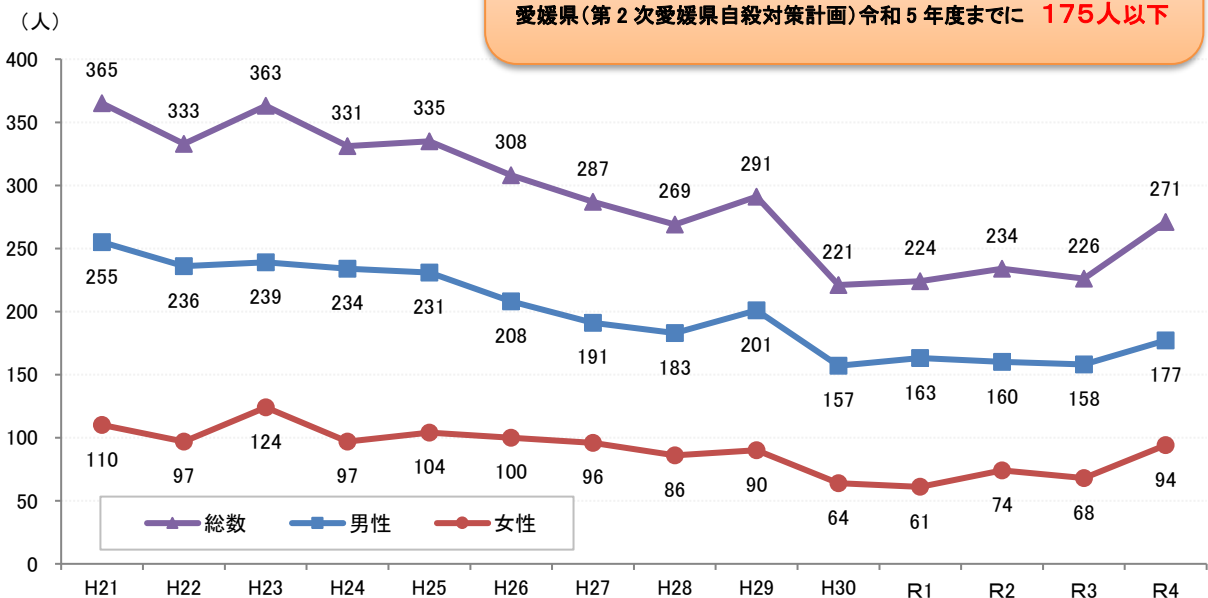
○全国の自殺者数は減少傾向にあり、令和元年は19,974人となっていましたが、令和2年は11年ぶりに増加に転じ、令和4年は21,723人となりました。男女の割合はこれまでと同様に全体の3分の2を男性が占めていますが、令和2・3年は前年より男性が減少した一方で女性が増加しています。

数値目標

全国(自殺総合対策大綱) 令和8年までに **1万6千人以下**

愛媛県(第2次愛媛県自殺対策計画) 令和5年度までに **175人以下**

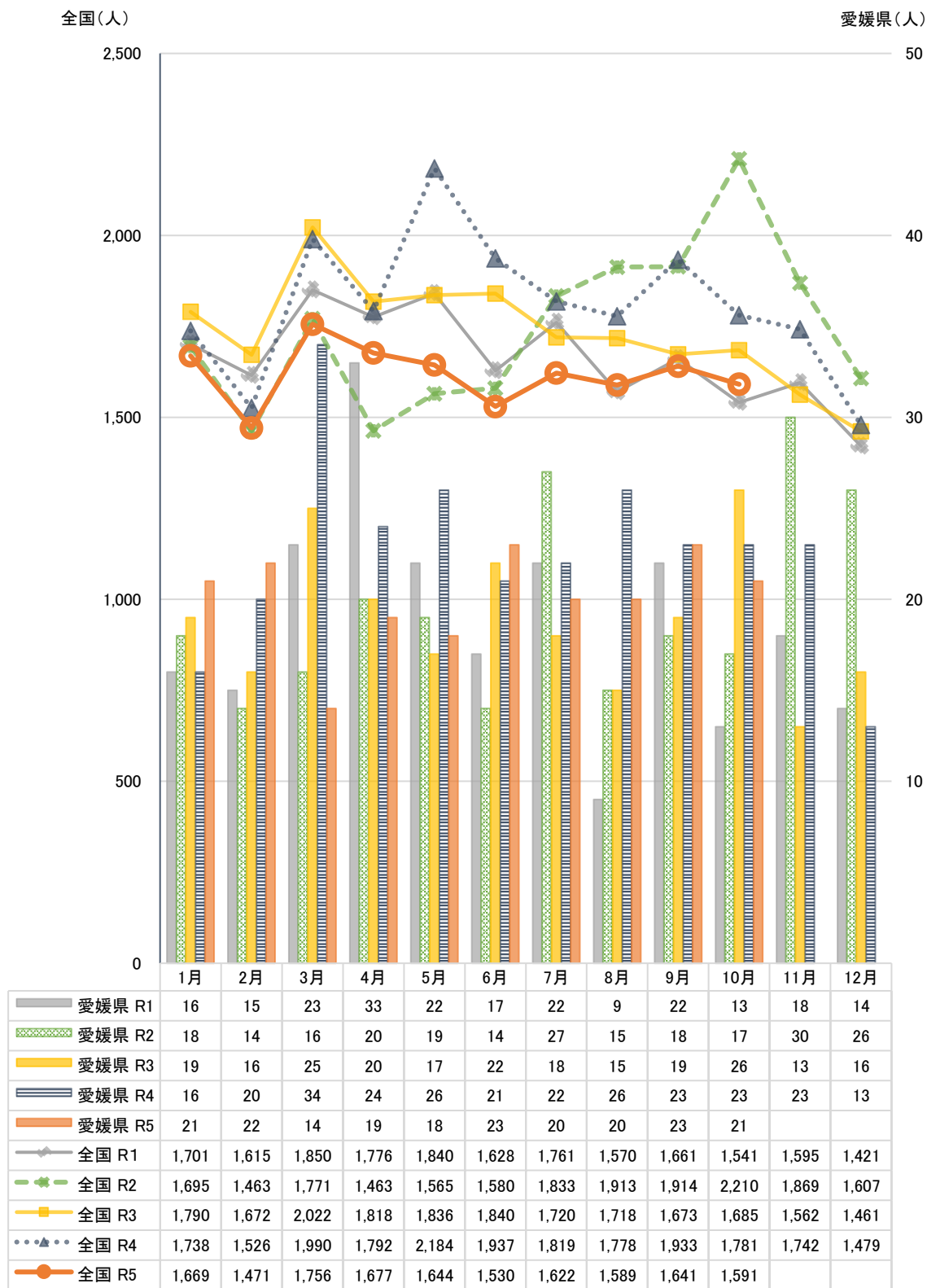
【愛媛県】



資料:警察庁「自殺統計(自殺日・住居地)」確定値

○愛媛県の自殺者数は減少傾向にありましたが、令和元年より増加傾向に転じています。令和3年に一旦減少し226人となりましたが、令和4年は271人と大きく増加しました。男性の割合が多い状況に変わりはありませんが、男性が前年比+19人(177人)であるのに対し、女性は前年比+26人(94人)と女性の増加幅が大きくなっています。

2 全国と愛媛県の月別自殺者数（総数）

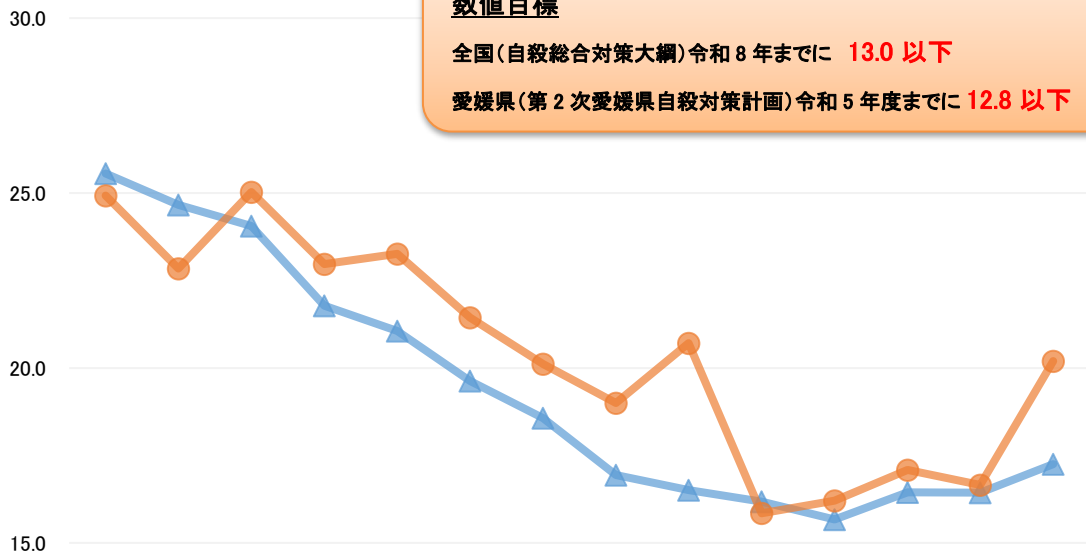


資料：警察庁「自殺統計（自殺日・住居地）」各月確定値
R5は暫定値

○月別の自殺者数は、例年3月が多い傾向にあり、令和4年の愛媛県は34人と例年に比べても多い状況でしたが、令和5年の3月は14人と他の月よりも少なくなっています。令和5年10月までの暫定値累計値は201人となっています。

3 全国と愛媛県の自殺死亡率

(人口10万対)



数値目標
 全国(自殺総合対策大綱)令和8年までに **13.0 以下**
 愛媛県(第2次愛媛県自殺対策計画)令和5年度までに **12.8 以下**

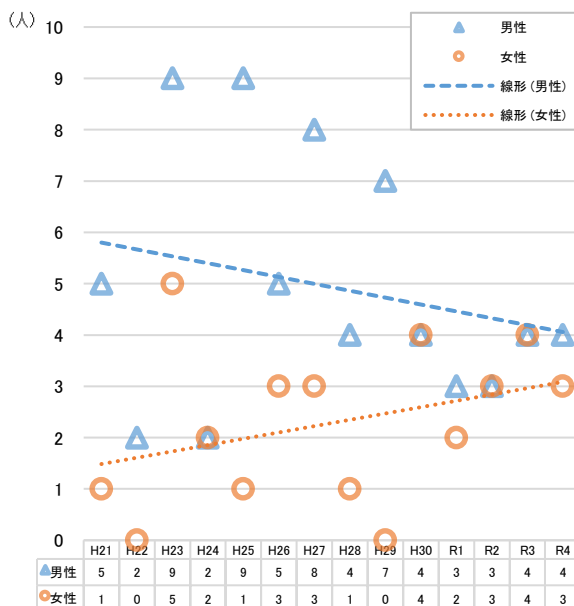
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
全国	25.56	24.66	24.06	21.78	21.06	19.63	18.57	16.95	16.52	16.18	15.67	16.44	16.44	17.25
愛媛県	24.93	22.84	25.03	22.97	23.26	21.44	20.12	19.00	20.71	15.85	16.21	17.09	16.66	20.20

資料:警察庁「自殺統計(自殺日・住居地)」確定値

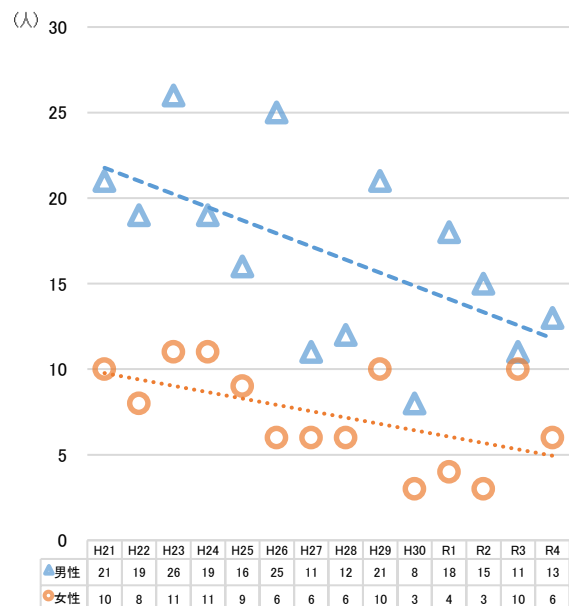
○全国・愛媛県の自殺死亡率は年々低下してきていましたが、全国では令和2年、愛媛県では令和元年から上昇傾向に転じています。令和4年、愛媛県の自殺死亡率は20.2と全国の17.25より高い状況にあります。

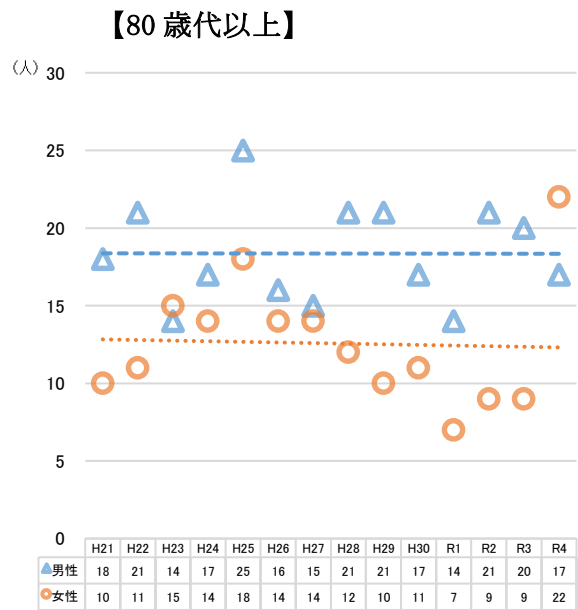
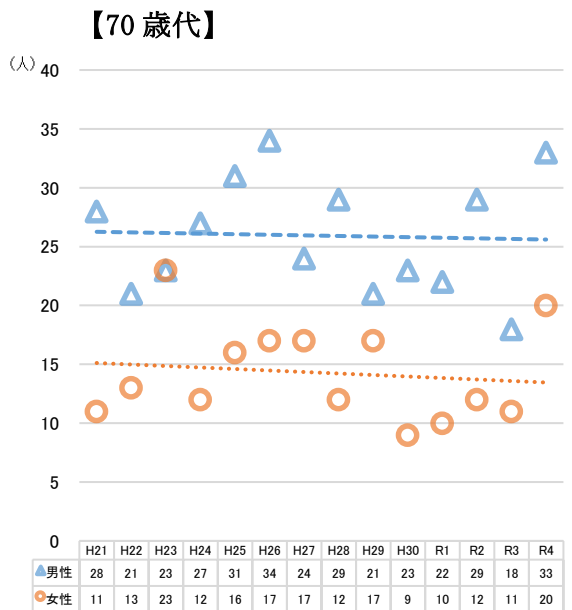
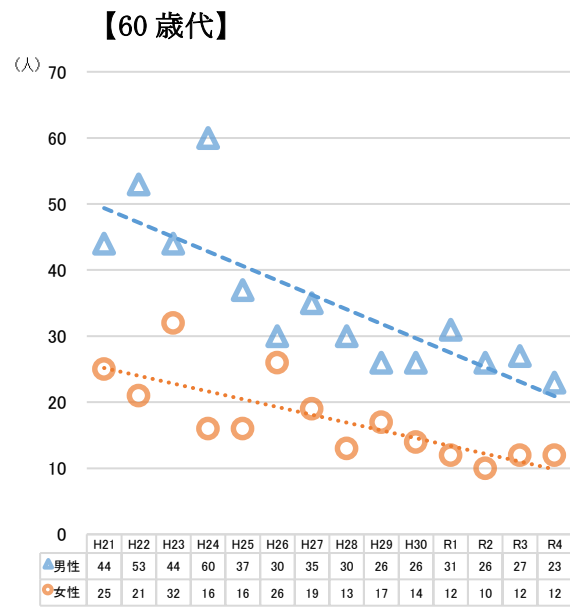
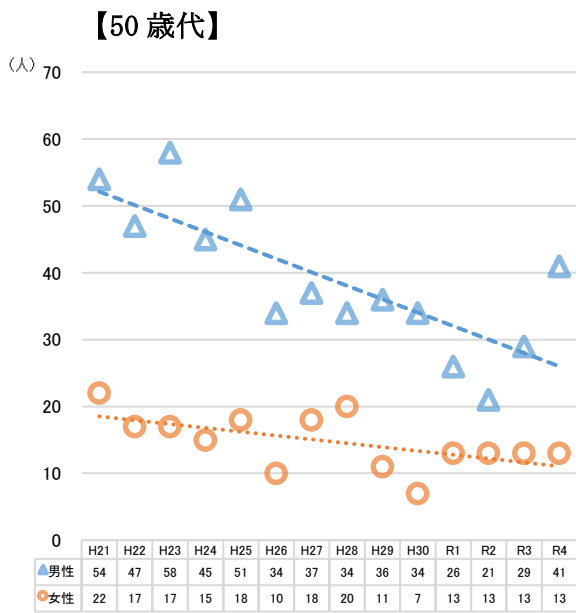
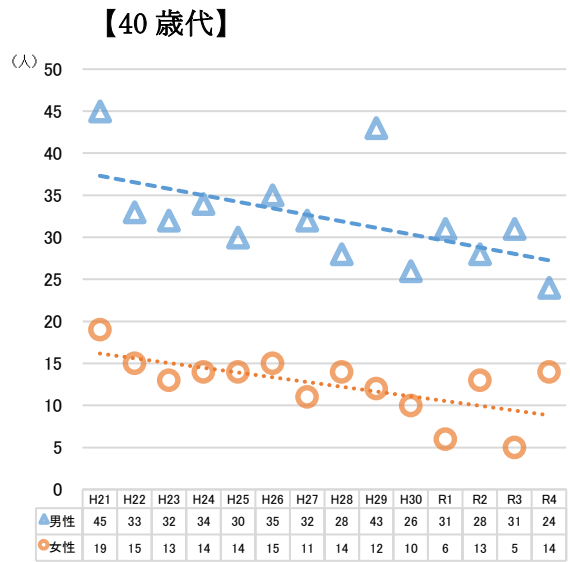
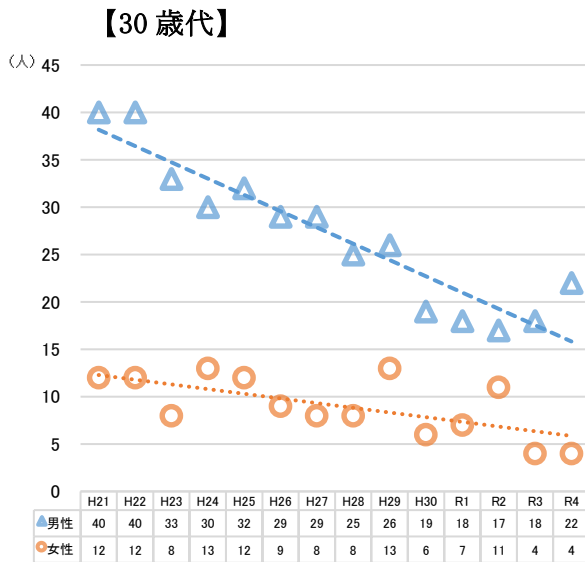
4 愛媛県の年齢階級別自殺者数

【20歳未満】



【20歳代】





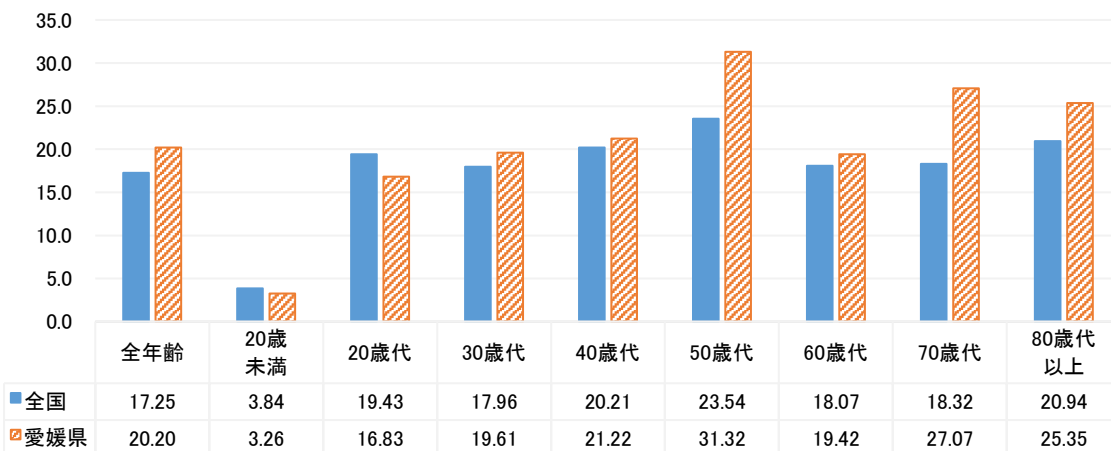
資料：警察庁「自殺統計(自殺日・住居地)」確定値

○平成 21 年～令和 4 年の愛媛県の年齢階級別自殺者数では、20 歳未満女性が増加傾向にあり、70 歳以上は横ばい、その他の年代は減少傾向にあります。

5 令和4年 全国・愛媛県 年齢階級別自殺死亡率

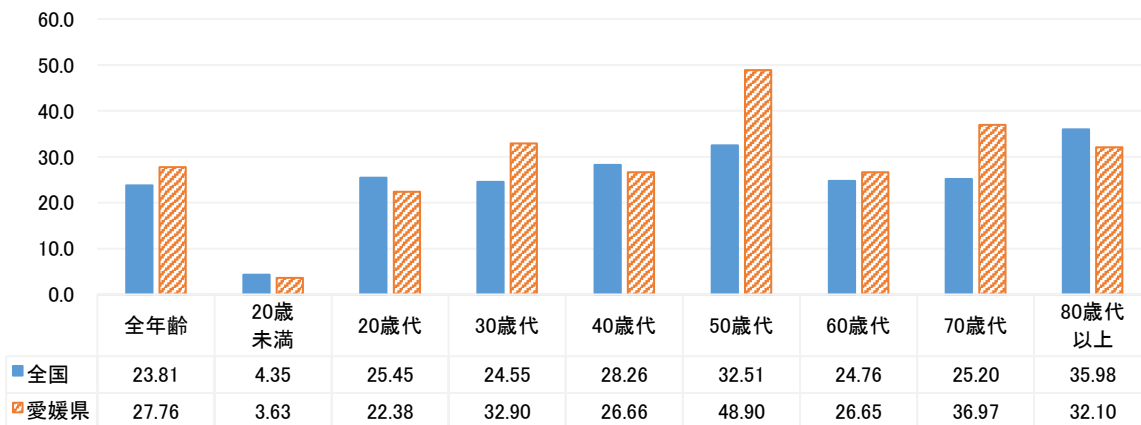
【総数】

(人口10万対)



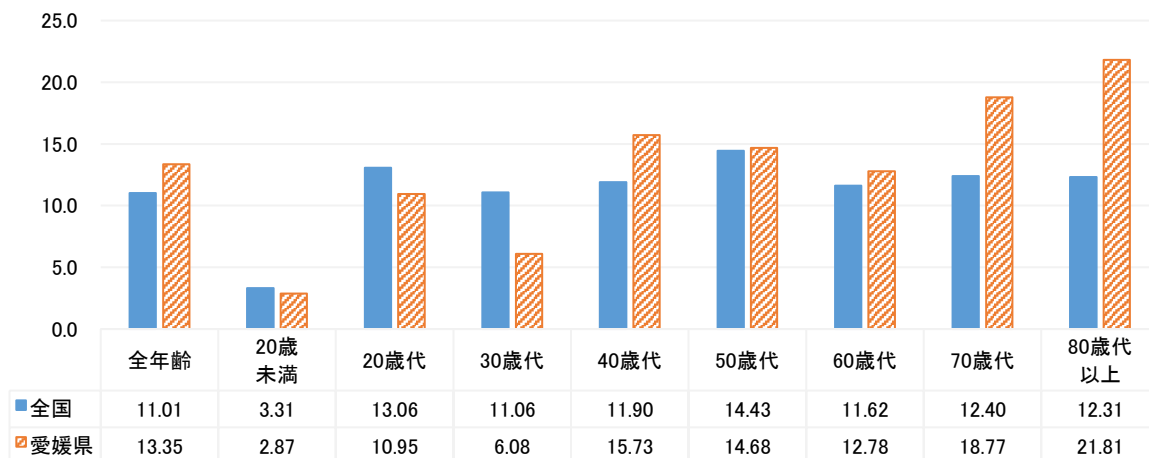
【男性】

(人口10万対)



【女性】

(人口10万対)

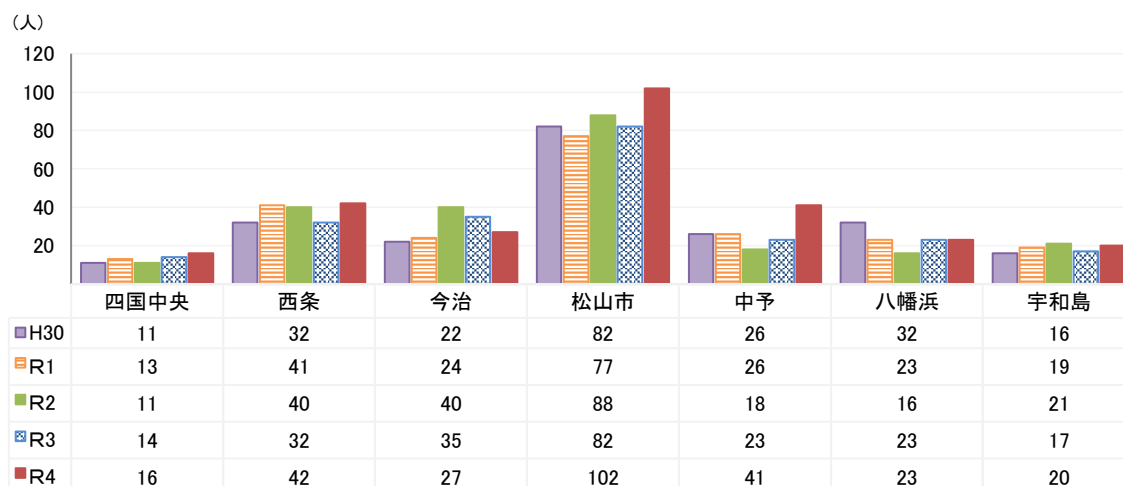


資料:警察庁「自殺統計(自殺日・住居地)」確定値、総人口(住民基本台帳)より算出

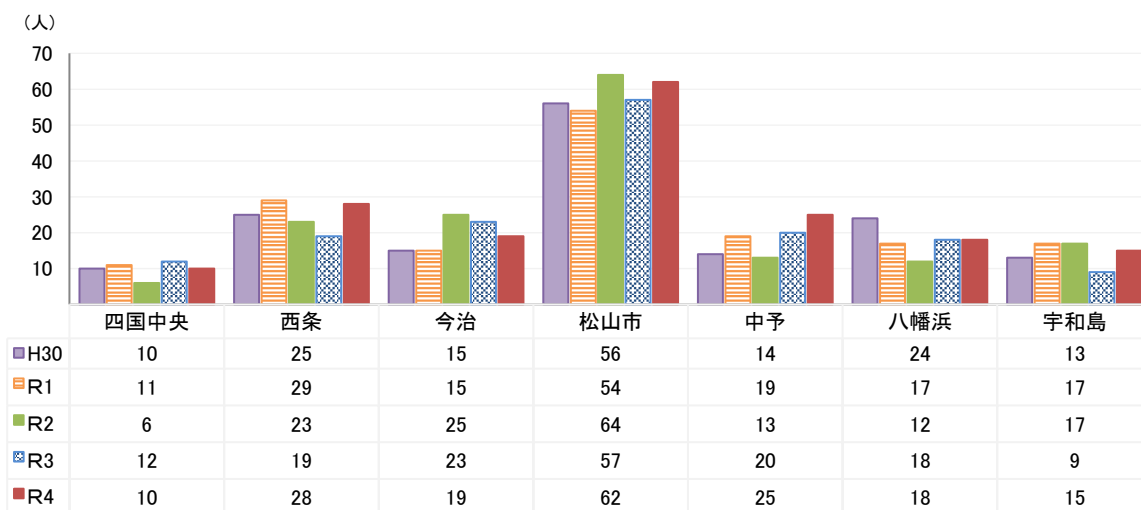
○愛媛県の年齢階級別自殺死亡率は、男性の30・50・60・70歳代、女性の40・50・60・70歳代・80歳代以上で全国より高い状況にあり、特に50・70歳代男性、70・80歳代以上女性は大きく上回っています。

6 平成30～令和4年 愛媛県内 管轄保健所別 自殺死亡数

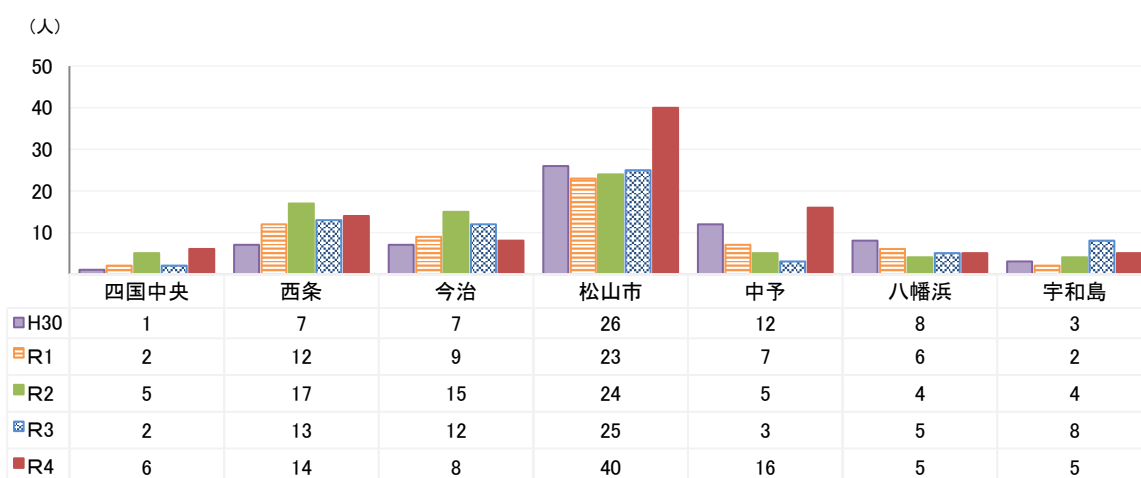
【総数】



【男性】



【女性】



資料：警察庁「自殺統計(自殺日・住居地)」確定値

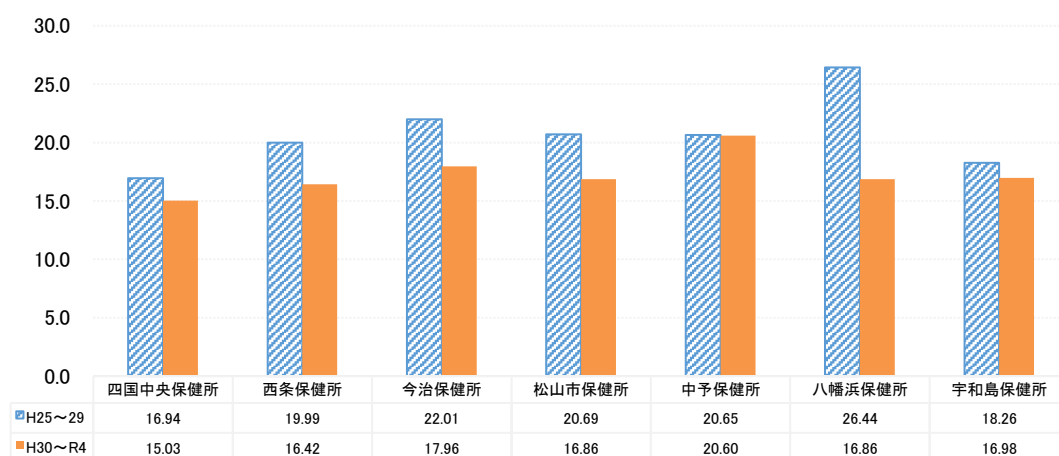
○令和4年の管轄保健所別自殺死亡数は、四国中央・西条・松山市・中予・宇和島保健所で前年を上回り、男性で西条・宇和島保健所、女性で四国中央・松山市・中予保健所の増加幅が大きくなっています。

7 平成 25～29 年・平成 30～令和 4 年（5 年平均）

愛媛県内 管轄保健所別 自殺死亡率

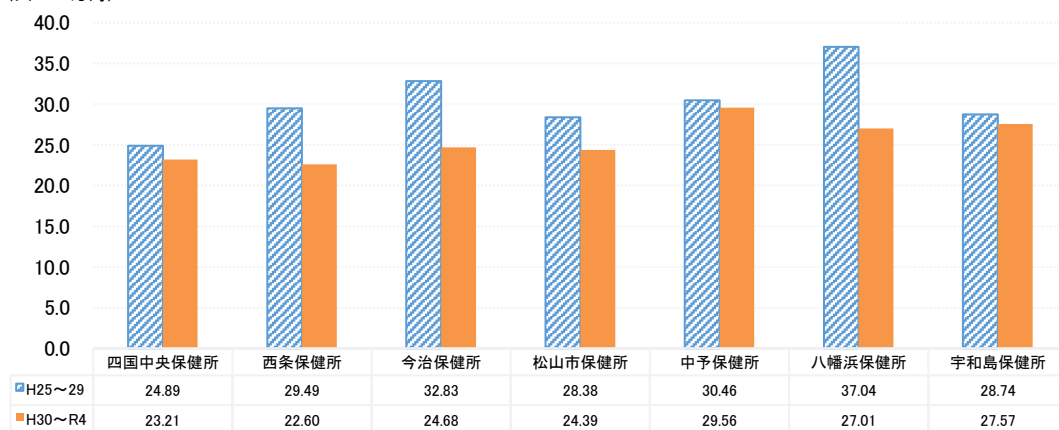
【総数】

(人口10万対)



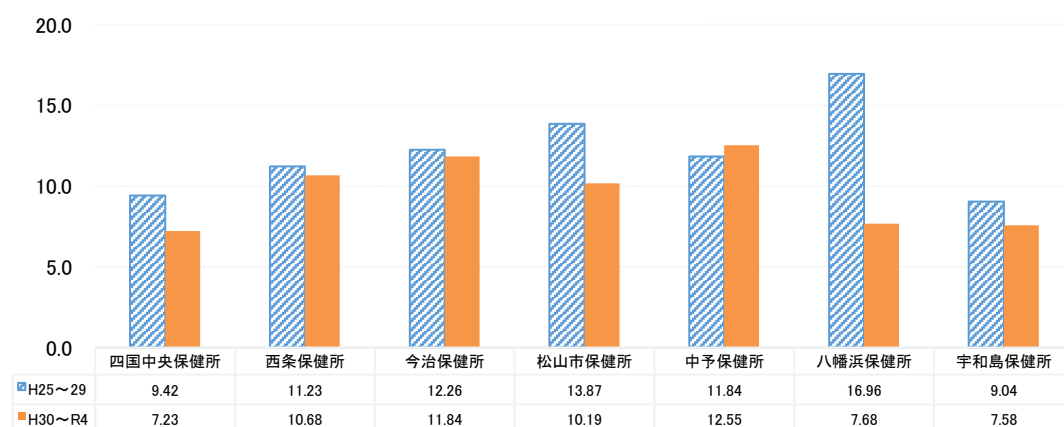
【男性】

(人口10万対)



【女性】

(人口10万対)

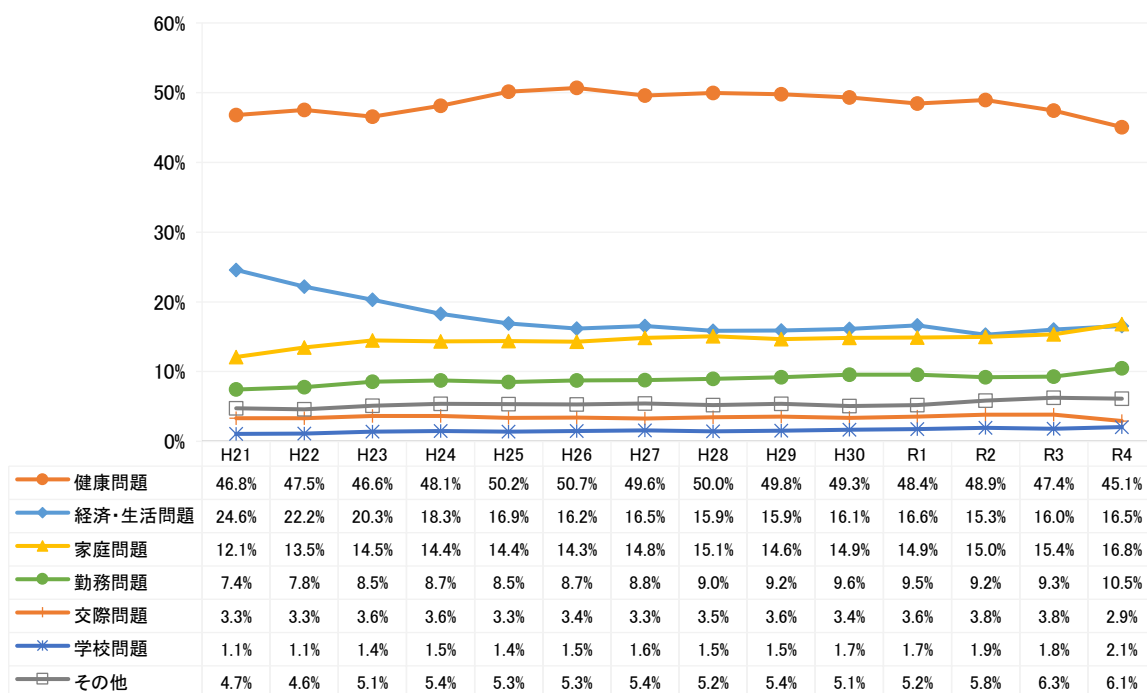


資料：警察庁「自殺統計(自殺日・住居地)」確定値、住民基本台帳総人口より算出

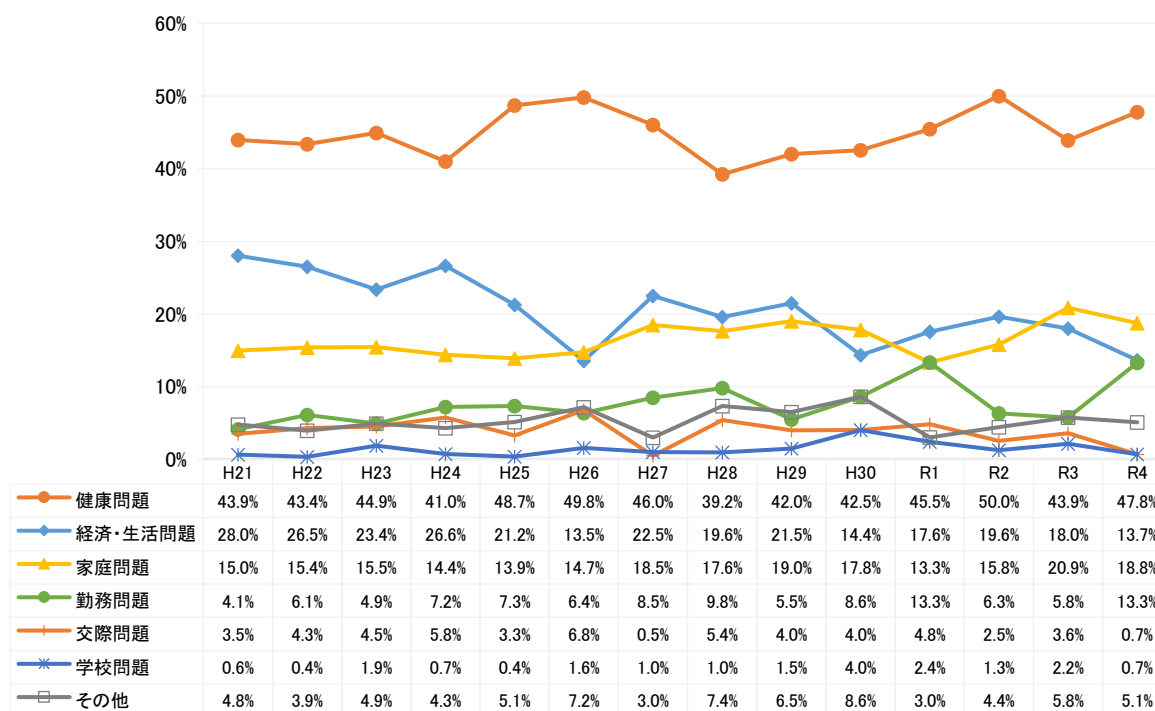
○平成 30～令和 4 年（5 年平均）の管轄保健所別自殺死亡率は、男性が中予・宇和島・八幡浜保健所の順で、女性が中予・今治・西条保健所の順で高くなっています。平成 25～29 年（5 年平均）と平成 30～令和 4 年（5 年平均）を比較しますと、女性の中予保健所のみ上昇がみられました。

8 全国・愛媛県 自殺者の原因・動機別構成比（総数） ※不詳を除く

【全国】



【愛媛県】

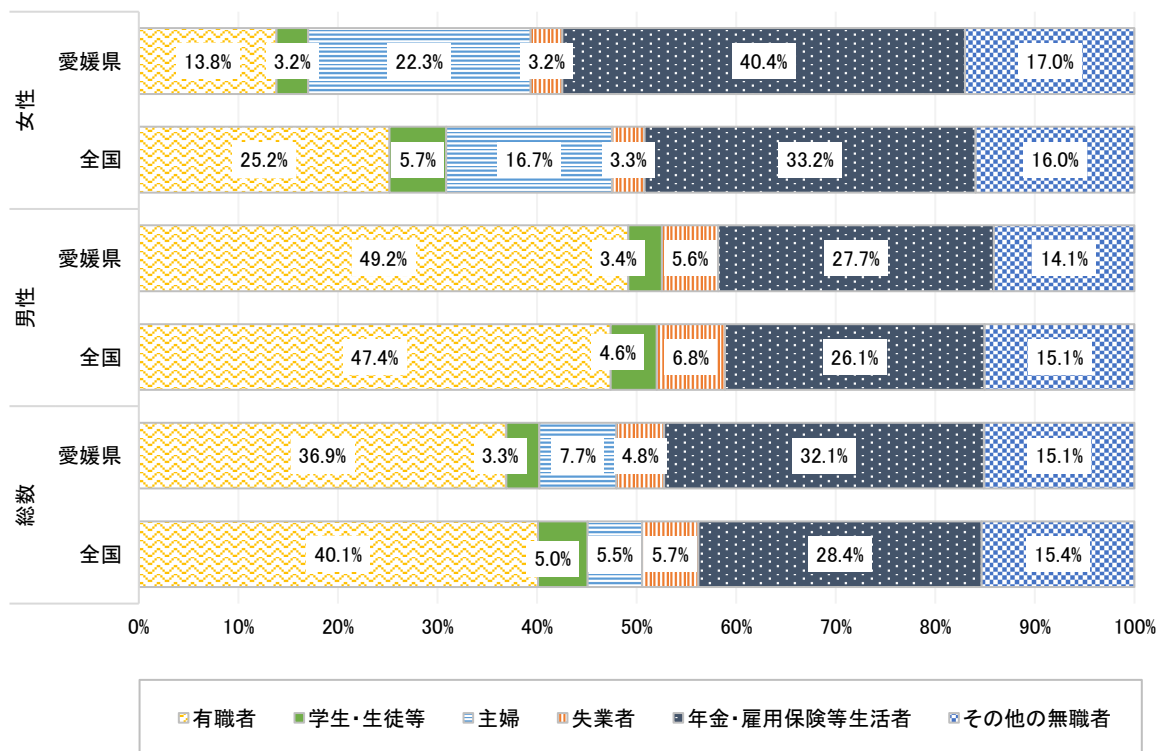


資料：警察庁「自殺統計（自殺日・住居地）」（確定値）

○自殺者の原因・動機別構成比では、全国・愛媛県ともに、健康問題の占める割合が最も高く、令和4年は次いで家庭問題、経済・生活問題、勤務問題となっています。また、愛媛県では前年に比べて勤務問題の割合が高くなっています。年次変化として、経済・生活問題は減少傾向にあり、家庭問題が増加傾向にあります。

※自殺の原因・動機に係る集計については、遺書等の自殺を裏付ける資料により明らかに推定できる原因・動機を4つまで（令和3年まで3つ）計上可能としており、交際問題は令和3年まで男女問題で計上しています。

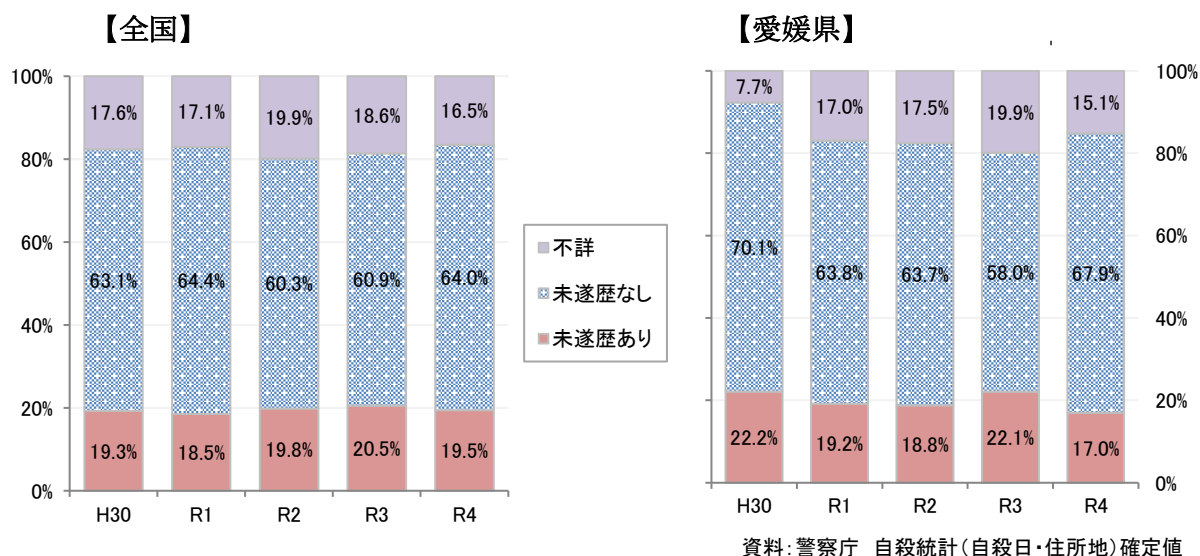
9 令和4年 全国・愛媛県 自殺者の職業別構成比（総数） ※不詳を除く



資料:警察庁「自殺統計(自殺日・住居地)」(確定値)

○自殺者の職業別構成比は、全国・愛媛県ともに、「有職者」の比率が最も高く、次いで「年金・雇用保険等生活者」、「その他の無職者」となっています。全国と比べると愛媛県は、女性の「年金・雇用保険等生活者」、「主婦」の比率が高くなっています。

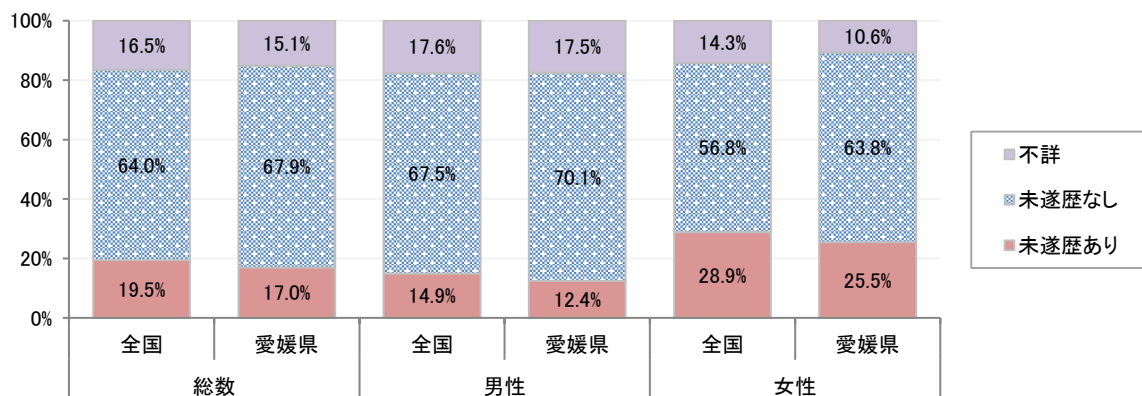
10 全国・愛媛県 自殺者の未遂歴の有無割合（総数）



資料:警察庁 自殺統計(自殺日・住所地)確定値

○自殺者の未遂歴の有無割合では、全国は自殺者の20%程度に未遂歴があり、愛媛県においても年により比率の変動はありますが、概ね同じような傾向となっています。

11 令和4年 全国・愛媛県 男女別 自殺者の未遂歴の有無割合



資料：警察庁「自殺統計(自殺日・住居地)」(確定値)

○男女別自殺者の未遂歴の有無割合では、女性の未遂歴ありの割合が、全国 28.9%、愛媛県 25.5%と、男性より高い状況にあります。

12 令和4年 愛媛県の年齢階級別死因順位

年齢階級	第1位	第2位	第3位
10歳代	自殺	不慮の事故	悪性新生物 心疾患 その他の消化器系の疾患
20歳代	自殺	その他の外因	心疾患 脳血管疾患
30歳代	自殺	悪性新生物	不慮の事故
40歳代	悪性新生物	自殺	心疾患 脳血管疾患
50歳代	悪性新生物	心疾患	自殺
60歳代	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患
70歳代	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患
80歳代以上	心疾患	老衰	悪性新生物

資料：人口動態統計

○令和4年、愛媛県の年齢階級別の死因順位では、10歳代、20歳代、30歳代において自殺が第1位となっており、40歳代で第2位、50歳代でも第3位となっています。